

相馬市立中村第一中学校だより



螢雪の功

令和6年12月6日発行
文責 高瀬 永志

今週は**第三者面談でお世話になりました**。学校でのお子さんの様子をお伝えし、今後のお子さんの成長につながる有意義な話合いとなつたでしょうか。なかなか担任と話す機会も少ないですが、これを機に、相談しやすくなつたことを願っています。冬休みになれば、家族で過ごす時間がふだんより増えると思います。勉強、部活動、人間関係、身体健康面など、子ども達は何かしら疑問や悩みをもつてゐると思われます。お子さんの話をじっくりと聞いてあげたり、家族の思いを話したりすることが、大きな支えになります。

反抗期のお話

中学生の頃は、**第二次反抗期**が訪れます。この頃は、成長とともに、子どもの世界が広がり、他との比較ができるようになります。理想としている自分と、客観的に見た自分の姿とのギャップに苦しんだり、周りの友だちと比較して落ち込んだりすることも多くあります。だんだんと、親を遠ざけ、親よりも友人関係を重視する傾向にもあります。ついこの間まで、べったりと寄り添つてお子さんが、親との距離をとりたがるようになると、さみしい気持ちにもなります。親は、自分の中学生時代を振り返りながら、反抗期は大人になるために必要な時期と考え、慌てず騒がず、親としての毅然とした態度を保ちましょう。そして、中学生をもつ親同士で情報交換をしたり、悩みを共有することも大切ですね。

反抗期の子どもの対応について HP【令和の思春期問題】臨床心理のプロが教える「魔法の言葉」から以下に「代表的な反抗タイプ」を紹介します。もっと読みたい方は、右の QR コードよりどうぞ。



- ① 親が話しかけても返事をしない〈コミュニケーション回避タイプ〉
自分の世界を大事にしている結果の態度です。すべてが親への反抗や不満から起きているわけではありません。後追いや侵入をしないで、子どもの様子を我慢強く見守り、必要なときに話を聞いてあげられる関係づくりをしてください
- ② 『うるさい！』『ほっといて！』と反発する〈闘争タイプ〉
自分でどうしたらしいかわからない場合が大半です。親が『同じ土俵に上がらないこと』と『力で押さえつけないこと』です。攻撃的な反抗は、エネルギーがある証拠であり、そのパワーが将来を生きるベースになることを期待して、上手に思春期を乗り越えていきましょう。昨今では、ここにスマホの使い方が介在していくことが多いですが、一方的に取り上げるのではなく、話合い納得させたルールを守らせていくことが大事です。
- ③ 『このままで大丈夫？』と親のほうが心配になる〈反抗期がほとんどないタイプ〉
反抗期がないことを心の成長の面で心配される方もいますが、まったく問題ありません。ただし、反抗期がない『いい子』の方向性が支配的な子育ての結果の場合は、話が違います。子どもの普段の様子を振り返って、親の顔色ばかりを伺うようなら、実はやんわりと支配的子育てをしている可能性があります。

リーディングスキル向上のための視写



1, 2年生では、時間をとって、教科書の視写を行っています。指定した教科書のページをまず黙読、音読したあと、1分間で書き写します。その後、自分が写したものをお読みし、内容理解についての質問に答えます。1分間に60文字を目指します。ただ書き写すことが目的ではなく、しっかりと文の意味、構造（主語や述語、文節の区切り）漢字で書かれた言葉の読みと意味などを捉えることが、教科書を読んで理解するための力になります。その教科特有の教科書の文の言い回し、文の特徴（学習言語）を理解することが、学力向上につながると考え、取り組んでいます。

来週の予定

- 12月 9日（月）内部被ばく検査2年4組（8:30）3年3組（13:00）
- 10日（火）進路セミナー（2年）小学生訪問2校時（桜ヶ丘小）
- 11日（水）PTA あいさつ運動 実力テスト（3年）
思春期保健講座（3年）
- 12日（木）総合的な探究の時間発表会 相馬総合高校
学校代表「相馬の空気は本当においしいのか」齋藤さん・清水さん・相馬さん
- 13日（金）生徒会専門委員会

